

# 見通す段階

「授業に取り入れる手立て」の実践例です。



## (7) どこまで解決の見通しや結果の見通しをもたせるかを明確にする。

単元名 広さを調べよう（4 学年）



(A児) こうやって……

どんな方法があるのかな？

あっ！線を引いたらできそうた！

複合図形の面積を求める場面で、A児は、「付け加えて引く」考えをもっていた。言葉で説明しようとしたが、この考えは児童から引き出したい考えだったので、あえてジェスチャーで伝えさせることで、ほかの児童の関心を引き、思考させる場面をつくった。

目指した児童の姿

これまでの学習を基に、「このようにすれば解決できそうだ」という解決の見通しをもつ姿。

## (1) これまでの学習を振り返る時間を設定する。

単元名 比例（6 学年）



比例は表を縦に見たり横に見たりしたね。

掲示物

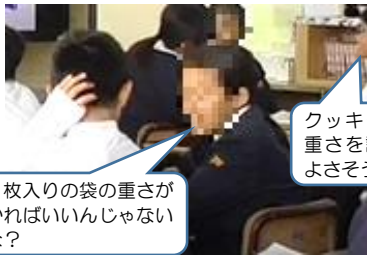
比例の考えが使えるのではないかと児童が発言したときに、掲示物に着目させながら、比例の性質とはどのようなものであったかを振り返らせた。

目指した児童の姿

これまでの学習を基に、「このようにすれば解決できそうだ」という解決の見通しをもつ姿。

## (ウ) 解決の方法や結果について、全員で共有する前に、児童が 1 人で考えたり、少人数で話したりする時間を設定する。

単元名 比例（6 学年）



11 枚入りの袋の重さが分かればいいんじゃないかな？

クッキー 1 枚の重さを調べてもよさそうだよ。

数人の児童が解決方法の見通しを発言しかけたときに、「どんな方法があるかな。隣の人と相談してみよう」と、少人数で話す時間を設け、全員が見通しをもてるようにした。

目指した児童の姿

これまでの学習を基に、「このようにすれば解決できそうだ」という解決の見通しをもつ姿。

## (I) 発表された見通しについて、その意味や妥当性を少人数で話し合う時間を設定する。

実践例



どういう意味だろう？

〇〇さんが考えた見通しは、……

一人の児童が解決方法を発言したときに、「その方法はどうか。近くの人と話してみよう」と、少人数で話す時間を設け、その意味や妥当性を考えさせた。

目指した児童の姿

これまでの学習を基に、「このようにすれば解決できそうだ」という解決の見通しをもつ姿。